

議案質疑

全議案に対する質疑は、6月12日に行われ、5人の議員が26項目に及び質疑をしました。その主なものは次のとおりです。
 なお、議案第48号は、本庁舎の移転に関する議案です。

議案第48号

市役所本庁舎のスピカビル移転

【議員】 移転経費等の違いは。

【市長公室長】 現本庁舎で継続する場合は、耐震工事費約8億円、今後15年程度の使用を見込む。移転する場合は、耐震工事は不要だがスピカビル活用プランに基づく改修費用は約13億円で、今後35年程度使用可能と考える。

【議員】 移転経費の内訳は。

【市長公室長】 共用部分で2億円、市民サービス部分で1億6千万円、市役所機能部分で8億5千万円、移転経費で7千万円、工事監理費で2千万円。実施設計等を含むと総額13億5千万円程度を見込む。

【議員】 過日の資料に移転費16億円との記載があるが、その根拠は。

【市長公室長】 概算工事費が未定のため、他市を参考に積算した。

【議員】 前市長時代は29億円。石

巻市30億円、栃木市40億円、土浦市50億円と聞く。この違いは何か。

【市長公室長】 今回はビル保全のための修繕費を除いた。修繕費については、今後、所有者である下館商工会議所、下館土地開発㈱、筑西市の3者で別途計画したい。

【議員】 移転のメリットに①スピカビルの有効活用②駅前等の活性化③本庁機能集約による利便性の向上等を挙げるが、起債の状況は。

【市長公室長】 市の実質負担額は、本庁耐震化の場合、5億円。移転の場合、合併特例債の活用で5億3千万円。市民サービス施設整備を除くと実質3億7千万円となる。

【議員】 プール施設の給排水管の劣化が懸念されているがどうか。

【市長公室長】 平成24年度に調査をしたが、比較的良好で、緊急を要する改修の必要性はなかった。

【議員】 今後、ビルの大規模改修

に合併特例債は使えるか。

【企画部長】 実施設計変更において、事業費の増額があっても起債制度上の問題はなく、使用できる。

【議員】 併設の立体駐車場は市民に不評だ。今後の使用を考えると利用者目線での改修は欠かせない。

【土木部長】 駐車区画を40cm広げ2.9mに。身障者等区画は3.5mとし、1〜4階に30台分を確保する。表示の明確化、LED照明による明るい場内、精算機の移動など利用者の安全確保に努める。

議案48号採決の結果

特別多数議決（出席議員の3/2以上。P12参照）により可決。賛成・反対は左記のとおりです。

○	×	×	○	×	○	○	○	×	×	×
加茂幸恵	石島勝男	塚原鉄雄	仁平正巳	内田哲男	津田修	増淵慎治	大嶋茂	稲川新二	田中隆徳	小島信一
○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
三浦讓	榎戸甲子夫	齊藤晃	箱守茂樹	赤城正徳	秋山恵一	藤川寧子	堀江健一	外山壽彦	尾木恵子	真次洋行

○は賛成 ×は反対

議案第50号

消防団員の待遇は

【議員】 消防団員の充足率は定員の95.9%と聞く。団員の現状と退職金について聞きたい。

【総務部長】 団員の58.8%がサラリーマンで、就業との両立が難しい。募集も広報紙や事業所等で勧誘するが難しい。退職金は5年以上勤務した団員に階級や勤務年数に応じ支給している。平成25年度は退職者52名中41名に支給した。

議案第52号

マル福助成制度の更なる拡大

【議員】 県のマル福助成対象者が中学3年まで拡大される。これにより、市の「はぐくみ医療費」の軽減額は如何ほどか。

【健康増進部長】 平成25年度実績の試算で約1,400万円となる。

【議員】 窓口負担の変更はあるか。

【健康増進部長】 1医療機関ごとに入院1日300円、月3,000円に外来1日600円、月2回まであり、変更はない。

【議員】 高校3年生まで延長した場合の市負担は如何ほどか。

【健康増進部長】 約3,100万円の負担増となる。